



学校便り



浅海

松山市立浅海小学校

2019.11.11

ふるさとを想う歌

校長 芳野 妙美

11月8日(金)、2学期の大きな行事の最後を飾る「北条ブロック小中学校音楽発表会」が行われました。浅海小学校は、全校で合唱「ふるさとの色」、合奏「パプリカ」の2曲を発表し、会場の皆さんからたくさんの拍手をいただきました。

合唱「ふるさとの色」は、ゆったりとした素朴なメロディーに、ふるさとを想う情景豊かな歌詞がつけられています。作詞・作曲はアンジェラ・アキさん。NHK四国テーマソングとして作られた曲です。アンジェラさん自身が徳島県の山で囲まれた町で育っているそうです。そのためか、歌詞に出てくる描写は、浅海の情景と重なります。『稲穂、茜雲、紅葉、山、桜、小川、ホトトギス』などのどかな田舎の自然はもちろんのこと、『瀬戸内海、列車』という素材はまさに浅海小学校からの景色を想起させ、親近感を感じざるを得ません。歌詞の中の様々な情景は、浅海の日常や風物を表していると思わせるほどです。

『ふるさとの色』『ふるさとの音』『ふるさとの景色』を想う心は、最後には『ふるさとの人』に至ります。郷土愛の根底にあるのは、やはり「人」なんだなと感じました。ふるさとを離れても、帰りたいと思う気持ちを呼び覚ますのは、『ふるさとの人』です。

この歌は、そんなことを感じさせてくれる素敵な曲でした。

練習の過程から、子どもたちには「言葉(歌詞)を大事に歌おう、聴いている人に言葉を届けよう。」ということをお願いしました。合唱曲としての難易度は、決して高い曲ではありません。でも心を込めて歌詞を届けることで、聴く人の心を揺さぶる「言葉の力」がある曲ではないでしょうか。

音楽発表会を通して、この曲に巡り合ったことに感謝し、この歌詞をずっと大切にしたいなと思います。そして、子どもたちが浅海愛にあふれた人間に成長してくれることを心から願っています。

ふるさとの色

作詞・作曲 アンジェラ・アキ
編曲 ドクター・キャピタル

大地がそっと呼吸して野原を染め付けていく
稲穂は黄金色に 空を照らす茜雲
雨上がりの紅葉 もみじが濃く放つ赤
山はやがて白銀に あなたのふるさとの色

ツツジ、ミズキ、梅や桜 春は山から訪れる
あなたに届けたい ふるさとの絵はがきを

風で軋む杉の木 小川の微かなせせらぎ
耳澄ませばホトトギス 優しいふるさとの音

都会の夜は寂しくて 思い出にすがっている
そろそろ帰ろうかな 大切な人に会いたくて

森の奥へ続く参道 黄昏の瀬戸内海
心に映される ふるさとの景色たち

西日色のトンネルくぐって止まる列車から
降りた瞬間一面 恋しきふるさとの色
恋しきふるさとの人

ルルルルル
恋しきふるさとの色
恋しきふるさとの人



全力を出し切った陸上大会

10月17日（木）、市小学校総体陸上の部に4・5・6年生13名の児童が参加しました。

選手一人一人が練習の成果を発揮し、自己ベストに迫る記録を出すことができました。一緒に練習してきた4年生3人も、熱気あふれる会場の雰囲気を感じ取り、「来年こそは」という思いを強めていました。

保護者の方々には、朝早くからの見送りや夕方の出迎え、スタジアムでの応援などをしていただき、ありがとうございました。



浅海地区人権教育懇談会・人権ふれあい集会



10月26日（土）校区別人権教育懇談会では、人権に関する授業公開や人権ふれあい集会を行いました。子どもたちは「人権」について真剣に考え、各学級で「なかよし宣言」を発表しました。また、講師に繁柘義一さんをお招きし、歌を交えながらご講演いただきました。

地域の方々にもたくさん参加していただき、「今一度、じっくりと人権について考えたい。」「分かりやすいお話で、子どもと一緒に話し合ってみたい。」などの感想をいただきました。

北条ブロック小中学校音楽発表会



11月8日（金）、聖カタリナ大学のホールで「北条ブロック小中学校音楽発表会」が行われました。浅海小学校は、毎年全校児童で出演しています。合唱では、聴く人に手話をまじえて歌詞を届けました。合奏では、低学年が鍵盤ハーモニカやリコーダーで全体を支え、高学年が特別楽器で演奏を彩りました。本番が「一番！」の発表となりました。

【11/4(月)風早にぎわいレトロまつり】

会場では6年生8人が、浅海の人、場所、行事など『ふるさと浅海』の自慢を紹介しました。



11月12日(火)参観日のお知らせ

体育館で、合唱・合奏や獅子舞を披露します。

地域の方々にも、子どもたちの頑張りを見に来ていただきますようご案内いたします。ぜひ、お越しください。

- ◆11月12日(火)13:55~14:40
- ◆浅海小学校体育館